

謹賀新年

ゆるやかなネットワークをひろげていきましょう！

NPO 法人いぶりたすけ愛
理事長 星川光子



新年あけましておめでとうございます。

昨年度はワークショップへのご協力ありがとうございました。JKAの補助事業を受けて、北見市のGL（グループリビング）「じゅげむ館」、高砂市のGL「てのひら」、川崎市のGL「COCO宮内」、新座市のGL「えんの森」を会場にワークショップを開催することが出来ました。

4か所のGLを訪問し、それぞれの団体の成り立ちによって、運営方法が異なることを知りました。私にとって、各地域での取り組みは得るものがたくさんあり、どこを訪ねても前向きな生活者、運営者、支援者から元気をもらうことが出来ました。そして、GLが地域に元気を与えていることがとても嬉しいことでした。3月には、4か所のGLの訪問記が完成予定です。元気が伝わるものにしたいと思っています。

GL運営協議会のゆるやかなネットワークを広げていきましょう。今年も宜しく願いいたします。

全国4か所でワークショップを開催しました。

最初の2か所の報告を今回の会報で行います。

JKA補助事業「お年寄りが幸せに暮らせる社会をつくる活動」でワークショップを全国4か所で開催しました。延人数205人の参加がありました。グループリビングについて話を聞くのが初めての参加者が多かったため、グループリビングを知っていただける良い機会になったと思います。北海道北見市「じゅげみ館きたみ」、兵庫県高砂市「グループリビングてのひら」、神奈川県川崎市「グループリビングCOCO宮内」、埼玉県新座市「グループリビングえんの森」でワークショップを行いました。実際にグループリビングを見て、居住者や運営者、地域の関係者の体験に耳を傾けながら、共にグループリビングについて考えました。講演やワークショップの内容は年度末にHPにアップする予定です。

北見ワークショップ 9月21日(土)

北海道北見市 じゅげむ館きたみ

グループリビング 新しい住まい方・家族の形！



じゅげむ館 正面



WS 主催 挨拶 星川光子氏



講演 山元規子氏



講演 大江守之氏



会場の様子



開場の様子



ワークショップ



ワークショップ



ワークショップ

NPO法人いぶりたすけ愛とNPO法人 Z (i) G 在宅支援技術者連絡協議会が主催、NPO法人グループリビング推進協議会とグループリビング運営協議会が共催、JKA（お年寄りが幸せに暮らせる社会をつくる活動）後援で「じゅげむ館きたみ」で「北見ワークショップ」を開催いたしました。NPO グループリビング推進協議会 山元規子氏が『グループリビングのすすめ』について、続いて慶應義塾大学総合政策学部 教授 大江守之氏が『グループリビングの成り立ちと作り方』について講演しました。また『地域に根差すグループリビング』をテーマにワークショップを行いました。26人の参加がありました。

参加者の感想

- ・3グループに分かれてのワークショップの内容が良かった。今後のグループリビングを進めいく参考にしたい。
- ・みなさんの生の声を聞けて、楽しい時間でした。ますます外部に向けてグループリビングをアピールしたいです。
- ・今後の住まい方の参考になりました。
- ・グループリビングの新しい進み方を聞き、まさしくその通りと思います。只今、介護職員初任者研修に参加しています。施設よりグループリビングの良さを広げ伝えます。
- ・将来の自分の生活の方向がなんとなくイメージできそうです。
- ・グループリビングの住まい方を実際に住んでいる方から意見を聞くことが出来ました。その中からも、これからのあり方等、色々な意見が参考になりました。
- ・興味を持って参加させて頂きました。より身近なものと考えられるようになりました。近いうちに更に関わりを持って生活して行きたいと思っています。
- ・これからのグループリビングとは？これからの福祉施設は？これからのサ付住宅とは？という課題を考えていかないと、と思う一時でした。ありがとうございました。
- ・グループリビングとは北見ではまだまだ知名度が低い。COCO湘南台の方の住まい方は素敵ですね。
- ・グループリビングの良さ、大切さがわかります。老いて人生の最終を迎える上で、生きていて良かったと思える環境、住まいが大切に思います。私はまだ若いですが、みんなと楽しく生きられるところに住みたいと思います。（住宅とか地域も含めてです。）
- ・じゅげむ館に住む方のお話が心に残った「家族にはなれないけれど、思いやりを持って暮らす。」若い世代との交流が欲しいという意見も参考になった。
- ・生活者の方達が、それぞれに満足気な雰囲気でのぼのとしたものを感じました。北見に来て、この地域の皆様と交流できた事は幸せでした。GLの目指すもの、もっと広めていきたいですね。
- ・せっかくお住まいの方が、大勢いらしたので、皆さんの目線の話もあると良かったです。
- ・利用したい人はこれから増加すると思います。このような人たちの為、グループリビングが増えることを望みます。

「じゅげむ館きたみ」の経緯

「じゅげむ館きたみ」は『いつまでも元気に、自分らしく生涯自立、助け合いの暮らしを初めてみませんか』をキャッチフレーズに、グループリビングを運営されています。運営主体はNPOじゅげむ館きたみ、代表は地元で建設業を営んでいらっしゃる中村雅充氏です。「じゅげむ館きたみ」の建物は北海道学園大学北見校の学生を対象としたアパートとして作られましたが北見校が閉鎖した後に、最初の事業者がオーナーに声をかけ、『平成21年度高齢者居住安定化モデル事業』で補助を受け、改修工事を開設しました。(財)高齢者住宅財団の事業評価では「グループリビングのスキームを高専賃に導入する試みを、体系的に行うことを評価した。高齢者一人での老後をグループリビングにより、より生き活きたものにしようとする提案であり、高齢者を社会活動へとつなぐ仕組み等に、先導性がみられる。」という高評価を受けています。開設時入居者が期待通りには入らず、最初の事業者は運営をギブアップし、平成22年11月から中村氏が引き継いで運営をされています。

高砂ワークショップ 11月30日(土)

兵庫県高砂市 グループリビングてのひら

グループリビングとコミュニティづくり



講師 上野勝代氏



講師 石原智秋氏



講師 松本芙美子氏



開場の様子



開場の様子



開場の様子



ワークショップ 左から大江守之氏、上野勝代氏、小島美里氏、石原智秋氏、中村光雅氏、星川光子氏



建物外観



食堂



居室

NPO法人いぶりたすけ愛主催、NPO法人てのひらとグループリビング運営協議会共催、JKA（お年寄りが幸せに暮らせる社会をつくる活動）後援「高砂ワークショップ」を開催いたしました。最初にグループリビングてのひらの見学を行い、その後場所を高砂地区コミュニティセンターに移動し、ワークショップを行いました。まず神戸女子大学家政学部家政学科 上野勝代先生が『高齢者協同居住とコミュニティづくり』をテーマに基調講演を行いました。上野先生は震災復興コレクティブやデンマークのコ・ハウジングなど高齢者協同居住について研究をされています。続いて見学地であるNPO法人てのひら理事長 石原智秋氏とグループリビングてのひらの居住者の松本芙美子氏が『てのひらの暮らし』について講演を行いました。その後の懇談会はワールドカフェ形式で行われました。慶應義塾大学総合政策学部 大江守之先生が司会で、参加者がグループになり、グループリビングについての質問を挙げ、グループリビング運営者である石原智秋氏、星川光子氏、小島美里氏、中村雅充氏、研究者の上野先生が回答しました。グループリビングの暮らしを知らない参加者が多かったため、普及啓蒙ができ有意義な会となりました。66人の参加者がありました。

てのひらの経緯

NPO法人てのひら設立は平成12年4月。生きがい型デイサービスと居宅介護支援事業所を運営しているNPO法人である。神戸の震災復興コレクティブやCOCO湘南台に興味を持つ前からグループリビングのような住まいが必要だと考え、JKA補助事業を利用し、2011年にグループリビングを開設。住み慣れた地域で長く住まうことができる住まいを目指している。

参加者の感想

- グループリビングについての認識が少しですが出来たと思います。
- 自分の将来を考えるきっかけにしたいと思います。
- 今の自分自身の住まい方を考えるのに参考になりました。
- 大変勉強になりました。もっと時間があればそれぞれの居住内容についてお聞きしたかったです。又、機会があれば参加したいです。
- 居住者のかたのお話が聞いてよかったです。もう少し詳しくお聞きしたかったです。結局まとまったお金がないと何も選べないという現実を感じました。
- 高齢者の今後の選択の一つになるのではないかと。
- 実際に今入居されている方の話が聞いて、これからの考え方の参考になりとてもよかったです。
- 74才の1人暮らしをしています。これからの人生の生き方住まい方をお聞きしたいと思いました。
- 話を聞きながら、まだ若いと思っている自分の考えの無さに反省しながら今から将来の事をじっくりと考えます。
- 将来不安を持たないで生活できるいい空間だと思い、とてもいいお話でした。
- 「第3の住まい」のことをきいて、将来の不安が少なくなった。

ホームページ GLnet のお知らせ <http://glnet.sfc.keio.ac.jp/>

ホームページ GLnet は JKA 補助事業「お年寄りが幸せに暮らせる社会を作る活動」で運営しています。

食事は生活の楽しみです！

各グループリビングの食事



COCO 湘南台 夕食



てのひら 昼食



たすけ愛の家 昼食



COCO ありま 夕食



COCO たかくら 夕食

グループリビング運営協議会 会員募集中

会員の皆様、ぜひ関係者の方をお誘いください。

■グループリビング運営協議会 連絡先 土井原奈津江 NPO 法人 COCO 湘南内
TEL 0466 - 46 - 4976 ・ FAX 0466 - 42 - 5767 (1PM~5PM・平日)
会員の皆様、ぜひ関係者の方をお誘いください。



編集後記

無事4か所のワークショップを終えました。最後は2週連続3ヶ所のワークショップとなり、たいへんな忙しさとなりましたが、見学地の法人の皆様やグループリビング運営協議会の会員の皆様のご協力で、素晴らしいワークショップが開催できました。改めて感謝の意を表したいと思います。(な)

編集委員 星川光子 土井原奈津江 星野友里